

## 日々

枯れた芝生の原の彼方はぼやけ  
目を凝らしても  
ルーペを通して

一葉の写真  
撮り直すこともできない  
一葉の写真

何度見直しても  
あの彼方に一体誰が居たのか  
つまりあの時に

僕はいつもこうだった  
時の葬送に魂を削り  
しかも彼は次々にやって来る

どうして未来を想う暇いとまがあろう

どうして現在いまを共にする暇いとまがあろう  
墓掘りに過ぎぬこの僕に

(1989.1.8)